

2回ほど脇道にそれましたが、元に戻ります。今回は記事の上の所に目を向けてみましょう。ここは欄外と呼ばれ、数字や記号、そして日付などが入っています。欄外が一番左にはページ数がゴシック体で書かれています。朝日新聞の朝刊は、特別の日を除くと36ページか40ページになっています。年末になると朝刊が薄くなります。どの全国紙とも、今回の東日本大震災の翌日からしばらくの間は、ページ数が少なくなりましたがなぜでしょう。それには広告量の増減が大きく影響しています。

次に、「13版」などという版数が印刷されています。第1面だけではなく、各紙面に書かれています。朝日新聞東京本社の場合、朝刊を配達する地域は、本州の新潟、長野、静岡県以東の広範囲に及びます。このため朝刊では、印刷工場からの遠近に対応して、5つの版に分けて、12版、12版▲、13版、13版▲、14版の順で印刷します。これを「版建て」といいます。

(鈴木伸男 全国新聞教育研究協議会顧問)